



特集
会社イキイキ
「ユニーク制度」

「私たちは、宇宙一愛される会社を目指しています」と爽やかな笑顔で語るのは、同社社長の増永寛之さんだ。

「多くの人は、夢に謙虚過ぎると思うんです。どうせ夢を見るなら大きい方がいい。私は初めから宇宙一を諦めている人ではなく、真剣に宇宙一に挑戦できる人と仕事をしたいと考えています」

「ここでいう宇宙」の内容とは、売り上げでも利益でも、株式時価総額のことでもない。ライブポリューションが目指す宇宙一とは

宇宙一愛される会社を目指す

ライブポリューションは、スマートフォン・モバイル広告代理店事業を中心とする企業。従業員数は50人ほどだが、入社を希望する学生は毎年数万人にも上るといふ。人気の秘密は、ユニークな給与制度やフラットな組織、社員を大切にしている企業文化などにあるようだ。

ともに働く6人の評価で昇給幅が決まる



▲「どうせ夢を見るなら大きい方がいい」と語る増永寛之社長

「誰に愛されるのか？ まずは社内のメンバー（社員）に愛されるように努力します。メンバーから愛されない会社は、お客さまにも株主にも、そして社会からも愛されなideでしょう。売り上げや利益で宇宙一になっても、愛される企業でなければ存在する意味はありません。これが弊社の経営の本質なのです」

JR山手線沿線の高層ビルにある同社のオフィスは、まるでSFの世界だ。ガラスやアクリルの壁面にカラフルな光が反射し、宇宙船の内部を思わせる。

「宇宙」を標榜しているのが、オフィスは宇宙船的なイメージにしました。また、プロフェッショナルであるメンバーにふさわしい職場環境を提供したいという

思いで、来客スペースだけでなく、執務スペースの内装にも力を入れています」

給与をフェアに決定

同社のユニークな給与制度も、メンバーを大切にしている気持ちの表れだ。年功序列ではなく各自の取り組みを評価する仕組みだが、結果を出さなければ給与が下がってしまうような制度にはしていませんと増永さんは言う。

「若いうちはよいかもしれませんが、家族がいたりローンを抱えているたりしたら不安でしょう。そこで、基本的に右肩上がりで、かつ昇給幅をフェアに評価する制度ができなないものかと考えました」

そのために導入したのが360度評価。増永さんが発案したSMV (Six Members Valuation) という制度を採用している。その名の通り、一緒に仕事をするメンバー6人による全方向からの評価で昇給額が決まるという

特集 会社イキイキ 「ユニーク制度」

企業にとって一番の資産は、そこで働く人。つまり社員だ。彼らの能力を最大限に引き出し活用することが、会社の成長に直結すると言っても過言ではない。そこで今号では、ユニークな制度を設けることで、社員のヤル気アップに成功している企業を取り上げた。



取材・清水 高
笠井尚紀
山田清志
関根利子

ライブポリューション

東京都港区